

### 4つの森林活動

みなさまの参加を  
お待ちしております



**小手澤の森**  
第1・3日曜日



**知足の森**  
第1・3日曜日



**相模湖・嵐山の森**  
小原本陣の森  
不定期活動

# News Letter **NPO法人緑のダム北相模** *midorinodam.jp*



**No.647-648**

新年の活動を無事に始められました

## 【定例活動報告】 本年もどうぞよろしくお願ひします

戦後山に薪を拾い風呂や囲炉裏使い養蚕が家庭の収入のため学校から帰るとりヤカーを引き桑の葉の運搬が日課でした。化石燃料に変わり里山の管理ができず放置状態になり、2020年頃から松や炭焼きの材料のクヌギやコナラが害虫の被害で枯れはじめ登山道や公園でも強風や積雪があれば枝折れや倒木があり散策する人に危険が迫ってきます。一部間伐しても樹齢50年の杉檜や雑木林のクヌギやコナラは生産材料には運搬費用がかかり価値がありません。雑木林は樹齢20～30年で切って炭焼きや薪として生活に必要でしたが石油、石炭やガスの普及により必要がなくなり、人工林の杉檜も外国材の輸入により戦後植林した山林にも手入れが届か鹿イノシシそし

緑のダム北相模は相模原  
市内で活動する森林ボラ  
ンティアです。急がず、無  
理せず、楽しく、休ま  
ず、ボチボチと・・・



て熊などの野生動物までが人里に出没して困っています

今年は異常乾燥で山火事が多発し山の財産を失いました。農家では害獣動物に食べられるなら耕作放棄してスーパーで買い物した方が良くと思う人も高齢化社会に見られます。私達会員も負の財産を残さず森を守る為に草刈や間伐したり雑木林を再生して子供達が気軽に入れる森を作りましょう。

石井 明男（本会、理事）

## 【定例活動報告】 知足の森

今日の午前中は初めて木の間伐をしました。初めてのことでわからないことが多かったのですが、どうにか木を切ることができました。木を切った時に受け口が浅く、また方向を間違えてしまって枝が引っかかってしまってうまく倒れないことがありました。次木を切る時にはもっと受け口の浅さを木の直径に対して1/3にすることや、受け口の向きをもっと枝が少ないところにむけて正確に切れるようにしたいです。

午後は10×10mの正方形の中にどれだけの木があるのかを調べました。木を入れた方がいいのか入れない方がいいのか、また倒れた木がたくさんあるところに10mの杭のところがきちゃったりして、場所とりが難しかったです。次回やる時にはその判断をもっとちゃんとできるようにしていきたいです。また数えるべき木や切り株と数えなくても大丈夫な木や切り株の判断も難しく、宮村先生に教えてもらったところが何回かあったので、そこも次回やる時はしっかりと自分で判断できるようにしていきたいです。

とてもいい経験になったのでまた行きたいなと思いました。これからはもっと自分でできることも増やして行きたいです。これからも森の活動も普段の活動も頑張っていきたいです。

永森 友菜（中央大学附属中学校 1年女子）

1/18の活動に参加させていただきました、法政大学工学部機械工学科2回生の石井良磨と申します。大学では航空工学研究会HoPEという組織に所属し、鳥人間コンテストに出場するための機体設計および製作の主任を務めております。小金井市のイベントにてこの活動を知り、参加した経緯がございます。既に加工されている木材を使用することやさらに自分で二次加工することは何度もありましたが、実際に間伐をするということはないと思っていましたので貴重で非常に興味深い活動でした。私が一番気になりましたのが「間伐材の有効活用」です。と言いますのも、鳥人間コンテスト機は主な構造材としては複合材料を使用しますが、一部スパン方向の構造材で「ヒノキ」や「バルサ」を使用します。木材を使う活動をしている身として参加するべきだと感じました。また、中学生が多く参加していたことにとても驚きました。私の中高時代は学校の部活動しかやってこなかったもので、、（笑） また部員を連れて参加させていただければと存じます。



石井 良磨（法政大学航空工学研究会HoPE）



## 桜井尚武の 森のコラム

### 「春植物 (Spring Ephemeral)」



図1 月初旬に咲き出したセツブンソウ

20220108 昭和記念公園立川

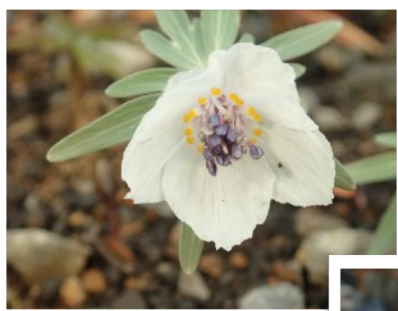


図2 2月末に花開いたセツブンソウ

20240224 実験植物園つくば



図3 3月下旬には実を付けたセツブンソウ

20240322 実験植物園つくば



図4 1月には咲いていたフクジュソウ

20090131 深大寺東京



図5 葉を茂らせたフクジュソウ

20140315 新宿御苑

「春植物」という言葉があります。落葉広葉樹林の林床に生える植物で、上層の樹木の葉が茂って陽光がさえぎられるまでの春先のわずかな期間に光合成を行い花をつけ受粉して種子を稔らせてしまう(図3)、あるいは球根などの器官に成長に必要な養分を蓄えてしまう等の、次代をつなぐ作業を終えた後は自身の葉も茎も枯らしてしまうという植物群を指す言葉です。英語で"spring ephemeral"という生物群がありますが、これの日本版だと考えていいでしょう。春植物群に特化したようにその蜜を吸いその植物を餌にして春先一時的に発生し生活を終える昆虫群も居てこの名前の一員のような生物、春だけに現れる妖精のような生物という意味ですが、「春植物」もブナ帯や常緑広葉高木樹を欠く関東地域等のクリ帯で、春先だけに現れる植物群を指しています。キンポウゲ科が多いのですがユリ科のカタクリやケシ科のエンゴサク類など他の科の種類もいろいろとあります。

節分の時期(今年は2月3日)になると話題に上るセツブンソウ(*Shibateranthis pinnatifida*)はこの春植物のうちの早期に咲く植物でキンポウゲ科、立川の昭和記念公園では1月に開花個体を見ましたが(図1)、今年につくば実験植物園では2月7日でも芽も見られず、昨年は2月下旬開花でした(図2)。日本固有種で関東地方以西の太平洋側に自生地があるといいますが私は野生のものをまだ見ていません。他の草花がまだ開かないこの時期、この花が持つ蜜はハナアブやミツバチ類には貴重な蜜源だそうです。フクジュソウ(*Adonis amurensis*)も早くから咲き始めますが(図4、5)花期が長いのであまり珍重されない気がします。本州中部以北から北海道、朝鮮半島、シベリアに分布します。私はかつて北上山地で植生調査をしている時に腰位まで、60cm位にまで茂ったキンポウゲ科の植物に逢い夏のフクジュソウの姿だよと教わって驚いたことがあります。今でも、あのフクジュソウが春植物かあと納得しがたい思いがありますが、春先にみる寒い中で必死に自己主張をしているフクジュソウは頑張っているんだなあと思得無しに応援するばかりです。「春植物」は学術用語と言っても定義に見合う厳密な分類はなく、思う人の感性が優先される儂い春の妖精と考えるのでいいでしょう。

桜井 尚武 (本会、会員)

## 【活動報告】「理数好きの児童生徒を育てる探究学習の成果発表会」に参加

本会の知足の森で活動する中学3年生が学芸大環境教育研究センターが主催する「理数好きの児童生徒を育てる探究学習の成果発表会」にて2つのテーマで発表し、当日参加者の投票で決まるポスター発表賞を受賞しました。発表したテーマは「相模原市スギ・ヒノキ林における、間伐が土壌の保水力に与える影響についての研究」「相模原市スギ・ヒノキ林における哺乳類の巣穴の共通利用についての研究」です。前者は間伐前後の斜面の上部、下部でテンションメーターを使い水分量を測定しました。後者はセンサーカメラで動物の出入りを観察しました。前者は、間伐後の方が降水後の水分保持が強いことが示され、後者はアナグマのペア、タヌキなども観察されました。まさに同じ穴のムジナ、ということでした。現在取り組んでいる斜面は間伐が進んでいるものの、下部植生の回復が遅いと推測しており、その解決に向けたデータとなっています。

宮村 連理 (本会、副理事長)



### 参加にあたって：

初参加者は、9時15分までにJR相模湖駅前に集合です。服装、持ち物については、汚れても良い服装、着替え、滑らない靴 成るべく皮製手袋、万一の怪我に備えて保険証、飲料水、主食、昼食

### 危機管理・救急対応：

危険管理・救急体制・森林ボランティア保険の準備の他、会として可能な限りの体制を敷いていますが「怪我・事故は、自己責任」です。

## NPO法人 緑のダム北相模

名称：特定非営利活動法人 緑のダム北相模  
 現地事務局：〒252-0172 相模原市緑区与瀬本町12 かどや食堂内  
 支援団体：セブン-イレブン記念財団  
 積水ハウスマッチングプログラム  
 国土緑化推進機構・緑の募金  
 ChangeX (AWS助成)  
 協働団体：神奈川県、相模原市、小金井市、マルモ出版、  
 東京学芸大学環境教育研究センター、  
 (社)東京学芸大EXPLAYGROUND推進機構

